<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	故郷を想い、守る会				
H30採択グループ番号	07	—	0712	—	0769

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	30年度事業においてはより多くの地域型住宅の提供を目標に活動を行いました。そのおかげで、グループに配分された補助金枠全棟分の地域型住宅を提供する事が出来ました。本年度は引き続きより多くの地域型住宅の提供に力を入れつつ、未経験工務店による活用が増やす事を目標に活動を行う。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/15	名称	グリーン化事業採択説明会			●
	内容	グリーン化事業の実施にあたって、グループ共通ルールや、グリーン化事業の制度の再確認、また30年度事業の注意点や事業の流れ等について、情報を共有した。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/08	名称	家づくりセミナー			●
	内容	エンドユーザー向けの家づくりセミナーを行った。添付の写真の日以外にも、活動エリア内で不定期に開催している。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/11/16	名称	定例勉強会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	施工グループの内、過去事業の経験メンバーを中心としてサポートチームを結成し、定例会（各地域：1～2ヶ月に1度。全体：3～4ヶ月に一度程度）時に技術勉強会を開催。また、地域リーダーと連携しながら、必要に応じて現場での施工技術研究会等を実施する事で、長期優良住宅未経験会社に対しての技術的サポートを実現を目指している。	
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	10	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	地域リーダーが中心となって、地域毎にグループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。グループ内にて構成員の廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテンナンス等のサポートを実施する。また、情報サービス機関によって保管・管理している住宅履歴情報を活用しスムーズな引継を実現する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	事務局、地域リーダーが中心となって、各エリアで開催される講習会の日程を連絡する事で、参加を促進すると共に受講漏れの防止を行った。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	2 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	故郷を想い、守る会				
H30採択グループ番号	07	—	0712	—	0769

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日		名称	グリーン化事業採択説明会		
	内容	採択結果が出ていない為、開催日は未定だが、昨年同様、新年度事業における注意点や申請の流れ等をの情報を共有するための説明会を行う。						
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	家づくりセミナー		
	内容	現時点で開催日は未定だが、昨年同様エンドユーザー向けの家づくりセミナーを複数回開催する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日		名称	定例勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	・施工グループの内、過去事業の経験メンバーを中心としてサポートチームを結成し、定例会（各地域：1～2ヶ月に1度。全体：3～4ヶ月に一度程度）時に技術勉強会を開催。また、地域リーダーと連携しながら、必要に応じて現場での施工技術研究会等を実施する事で、未経験会社に対しての技術的サポートを実現を目指す。	
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	地域リーダーが中心となって、地域毎にグループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。グループ内にて構成員の廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテンナンス等のサポートを実施する。また、情報サービス機関によって保管・管理している住宅履歴情報を活用しスムーズな引継を実現する。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	事務局、地域リーダーが中心となって、各エリアで開催される講習会の日程を連絡する事で、参加を促進すると共に受講漏れの防止を行う。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	OB顧客を中心にニーズを確認し、断熱改修のプランを検討していく。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日		
内容	開催日は要件等が公表されていない為、現時点では未定だが、エリアごとに研修会の実施を予定している。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	故郷を想い、守る会				
H30採択グループ番号	07	—	0712	—	0769

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	九州全域の様々な気候風土でも快適な家を実現する為、下記の共通ルールを設定している。 →断熱等性能等級4を標準とする（日差し・黄砂対策等） →住宅タイプに関わらず一次エネルギー消費量等級5の基準を達成する。 →緑のカーテン用のフックを標準取付け（緑の多いエコな住宅） また、施工時の数値目標を設定する等、一歩進んだ高性能住宅の提供を心がけている。	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位		
主要構造材	土台	有
	柱	有
	梁・桁等の横架材等	有
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有
造作材	枠材、廻縁等	有
板材	壁板、床板等	有

② 地域材の利用に関する補足説明

【使用部位】 主要構造材　及び　2次部材
【使用量・割合】主要構造材：昨年同様、延べ床面積より「過半に相当する量※」を計上し、使用する。割合と言う形では設定しない。
2次部材：使用量・使用割合、具体的な使用箇所については設定しない。

※80㎡未満：4?/　80㎡以上95㎡未満：5?/　95㎡以上110㎡未満：6?/110㎡以上125㎡未満：7?/125㎡以上：8?

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	断熱材についての、資材調達ルートを統一化している。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	定例会においてメンバーによる情報交換の席を設けている。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・耐力面材の使用を標準とする。 ・全棟に気密測定を実施。C値の標準目標値を「1.0」以下とする。また共通の書式にて性能報告書を作成し気密性能を報告する。 ・発泡ポリウレタン製の断熱材を標準とする。 ・節水型トイレの使用を、住宅タイプに関わらず標準とする。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の点検時期(3ヵ月・6ヵ月・1年・5年・10年・20年・30年)および点検内容を設定。点検時期には事前案内を通知し、スムーズなメンテナンスを実現している。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）		
内容	グループ共通の検査項目を設定し、施工時に自主検査を実施する。 同検査シートは、引渡し後、住宅履歴に登録し、建築主にも閲覧できるようにする。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	以下はその他地域の伝統的素材を活用する取組みにおいて選定する地産品、設備品の一例 ・【福岡】雨水タンク・節水型蛇口・博多織　等　【大分】竹細工製品　【鹿児島】杉製品・薩摩切子　等 【熊本】い草製品・人吉・球磨家具　等　・【佐賀・長崎】九州産陶器（波佐見焼・有田焼等）製品（スイッチプレート、ネームプレート等）	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	各事業者が独自に取り組んでいる。グループとしては勉強会で「働き方改革」や「労働安全衛生法」をテーマに取り扱うなどして、グループ全体の意識向上をはかっている。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	各事業者が独自に取り組んでいる。グループとしては勉強会で「働き方改革」や「労働安全衛生法」をテーマに取り扱うなどして、グループ全体の意識向上をはかっている。
③ 社会保険への加入	有	内容	各事業者が独自に取り組んでいる。グループとしては勉強会で「働き方改革」や「労働安全衛生法」をテーマに取り扱うなどして、グループ全体の意識向上をはかっている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	各事業者が独自に取り組んでいる。グループとしては勉強会で「働き方改革」や「労働安全衛生法」をテーマに取り扱うなどして、グループ全体の意識向上をはかっている。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	故郷を想い、守る会				
H30採択グループ番号	07	—	0712	—	0769

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	積極的な使用を提案するようにしている。ただしエンドユーザーのニーズと合致しない事もある為、使用の必須化はしない。
② 和瓦の活用	有	内容	積極的な使用を提案するようにしている。ただしエンドユーザーのニーズと合致しない事もある為、使用の必須化はしない。
③ 襖・障子の活用	有	内容	積極的な使用を提案するようにしている。ただしエンドユーザーのニーズと合致しない事もある為、使用の必須化はしない。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	各県、各地域より、1品以上の地産品や地域の特徴に合わせた設備品を選定。選定された地産品の中から、消費者に1種以上を選択してもらい、地域型住宅に使用、または消費者に贈呈する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	各県、各地域より、1品以上の地産品や地域の特徴に合わせた設備品を選定。選定された地産品の中から、消費者に1種以上を選択してもらい、地域型住宅に使用、または消費者に贈呈する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	各県、各地域より、1品以上の地産品や地域の特徴に合わせた設備品を選定。選定された地産品の中から、消費者に1種以上を選択してもらい、地域型住宅に使用、または消費者に贈呈する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域リーダーを中心に、地域毎の定例会時（1～2ヵ月に1度）にて、各地域における「景観ガイドライン」に対しての勉強会を実施し、同ガイドラインへの適合に努める。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

当グループには熊本のメンバーも所属している。より多くの地域型住宅の提供が復興に繋がると考える。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み